

契約産地31社を表彰

サラダクラブ 生産者へ感謝伝える

サラダクラブはこのほど、契約産地を表彰する「Grower of Salad Club 2021(グロワー・オブ・サラダクラブ2021)」で、全国約400の契約産地の中から9産地を「最優秀賞」、19産地を「優秀賞」、3産地を「特別賞」として表彰した。



同社は、生産者との顔が見える関係を基本に、「契約取引」で原料調達している。契約取引は、一定価格での安定した原料調達が実現すると

というメリットがある。現在、全国に約400の契約産地があり、常に安定した調達ができるよう取り組んでいる。「Grower of Salad Club」は、生産者へ

評価点が最も高かった9産地を「最優秀賞」に、次に得点が高かった19産地を「優秀賞」に選定。「特別賞」は、野菜の相場高騰時に貢献した産地と特殊原料の安定調達を行った産地、新商品の原料供給産地を選定した。受賞産地は、サラダクラブの商品に使用されているアプリ「サラダクラブ産地検索」内の「Grower of Salad Club」ページでも見ることが出来る。最優秀賞受賞産地①産地名・しかりべつ高原

- ②村上農園、静岡県。キャベツ、所在地・北海道(以下同順)
- ③黄金スプラウトミックスサラ
- ④崎農場、キャベツ・レタス類、青森県
- ⑤雄辯恋オーソーパーズプラウトの
- ⑥アンドエフ(三浦英雄)、キャベツ、岩手県
- ⑦最優秀受賞者、青空
- ⑧とびあ浜松農業協同組合、キャベツ、静岡県
- ⑨中央のコメント「野菜を育て始めた時から、この賞を目標に頑張ってきた。どうすればいい野菜を育てることが出来るかを、過去の最優秀賞を受賞された農業法人に勉強に行って教えていただいたお陰だ。コロナの影響で野菜の流通が厳しい中にもかわらず、契約数量を守っていただいたサラダクラブさまにも感謝する。この賞に恥じないよう日々努力をし、いい野菜をお客さまに届けられるよう頑張ります。」